

17 家庭の教育力の向上

①施策の展開	家庭の教育力の向上	課名	地域教育振興課
②取組概要	<p>子育てやしつけに不安や悩みを抱える家庭を支援するため、家庭教育サポーターを小学校に派遣し、相談体制の拡充を図る。</p> <p>社会教育団体などと協働し、市民のコミュニティの促進を図るとともに、市民との協働による生涯学習の機会の充実を図る。</p>		
③構成取組	<p>(1) 元気子育てフォーラム事業</p> <p>(2) 家庭教育サポートチーム⁽³²⁾派遣事業</p> <p>(3) 家庭教育学級事業</p> <p>(4) 関係機関・団体との協働</p>		
④取組計画	<p>(1) 元気子育てフォーラム事業を家庭教育支援連絡会と連携しながら、市民会館で開催する。</p> <p>(2) 家庭教育サポートチーム派遣事業を行い、各コミュニティセンター単位に1人配置するとともに、その実績を検証・評価し、今後の方針を決定する。</p> <p>(3) 家庭教育学級を、コミュニティセンターを中心に年24回開催し、家庭教育支援者養成のため、子育て応援セミナーを開催する。</p> <p>(4) PTA協議会の活動が円滑に運営できるよう、地域や保護者同士の交流や連携が図られることで、家庭や地域の教育力向上につながるよう、各種事業の支援を実施する。</p>		
⑤取組実績	<p>(1) 元気子育てフォーラムは、家庭教育支援連絡会と連携し、「手をつなぐ子育て」をテーマに、寝屋川市の公共機関の役割をトークセッションし、また、秋葉英則氏の講演会を開催した。</p> <p>(2) 家庭教育サポートチーム派遣事業を行い、各コミュニティセンター単位（2中学校区）に1人配置（田井小・南小・第五小・池田小・東小・神田小）し、子育てに不安や悩みを抱える保護者に</p>		

接し、家庭の健全化、青少年の健全育成に寄与した。

- (3) 家庭教育学級を、コミュニティセンターを中心に年 24 回開催し、保護者が孤立化しないよう支援を行った。また家庭教育支援者スキルアップ講習会を開催し、家庭教育支援者の養成に努め、12名の家庭教育サポーターと11名の家庭教育学級ファシリテーターを選出した。

<各種事業参加状況>

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
元気子育てフォーラム		1,013 人	1,009 人	1,056 人
サポートチーム	訪問回数	254 回	654 回	1,040 回
派遣事業	相談件数	241 件	600 件	876 件
家庭教育学級		492 人	581 人	661 人

- (4) P T A 協議会は各中学校区ごとに選出された役員によって運営され、単位 P T A の自主的な活動を支援するとともに青少年の健全育成、地域教育力の向上に貢献し、市の様々な事業へも積極的に参画している。支援事務としては各種事業が円滑に行えるように指導・助言を行った。

< P T A 協議会支援事務参加者数 >

		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
バレーボール大会		1,100 人	1,935 人	1,820 人
P T A 音楽祭		940 人	977 人	927 人
P T A 大会		970 人	985 人	917 人
ドッジボール親善交流会		2,100 人	2,315 人	2,115 人

⑥評価

- (1) 元気子育てフォーラムは家庭教育支援連絡会と連携しながら、市民会館で開催し、多くの参加者に家庭教育を考える機会の提供

ができた。また、子育てに関する公共施設についても、市民に周知することができた。今後も、家庭教育支援連絡会と連携し、フォーラムの企画内容、運営方法を検討し、関係機関との連携を図りながら充実をめざす必要がある。

- (2) 家庭教育サポートチーム派遣事業は、家庭訪問回数や相談件数が年々増加傾向にあり、学校や家庭からもサポーターに対して「不安や悩みの軽減につながった」、「不登校からの改善がみられた」等の声も多く寄せられた。今後も子どもサポート会議等と連携し、孤立する家庭への支援や家庭の健全化を経ての青少年健全育成に努めるとともに、サポーターの資質向上と12中学校区での配置を図っていく。
- (3) 子育ての不安や家庭の在り方等、家庭教育に関する学習機会の提供を行うことができた。また、孤立化を防ぐために仲間づくりや交流を目的とした「わいわい楽しく子育てひろば」も開催することができた。今後は、より家庭教育の普及を図るために、12中学校区において、家庭教育講座の開催をめざす。
- (4) P T A協議会のスムーズな運営がなされるよう事業マニュアルの作成や役員間の事業の引き継ぎ等への指導・助言を行い、さらに自主運営をめざす必要がある。